

# 進化経済学会

ニューズレター No. 44

June 2018

進化経済学会事務局

〒171-8501

東京都豊島区西池袋3-34-1

立教大学経済学部

荒川章義

03-3985-2345

a-arakawa@rikkyo.ac.jp



撮影：西洋

+++++

第 22 回進化経済学会九州大会を終えて  
2017 年度若手セミナー開催報告  
第 22 回進化経済学会九州大会理事会議事録  
第 22 回進化経済学会九州大会総会議事録  
2017 年度部会報告  
第 23 回名古屋大会オータムカンファレンス案内  
会員異動

+++++

## 第 22 回進化経済学会九州大会を終えて

第 22 回九州大会実行委員長  
磯谷明德（九州大学）

第 22 回の進化経済学会年次大会は、「選好，制度，経済システムの進化」をテーマとして，2018 年 3 月 29 日（木），30 日（金）の両日にわたって，九州大学箱崎キャンパスで開催されました。例年の土・日開催とは異なり，また全くの年度末の開催となってしまいました。皆さまには所属機関での面倒な会計上の処理を強いてしまったのではないかと思います。両日とも晴天で天候に恵まれ，まだ桜も花びらをつけていましたので博多の春を楽しんでいただけたのではないかと思います。

さて，九州での本学会開催は，2001 年 3 月の第 5 回大会（九州産業大学），そして 2008 年 3 月の第 12 回大会（鹿児島国際大学）につづいて今回が 3 度目でした。第 5 回大会は学会創成期の大会でまだ手探りの時期であったと記憶していますが，第 12 回大会になると学会も次第に熟度を増し，進化ゲームや実験経済学のセッションとともに「進化経済学テキストブック」のセッションが組織されたのもこの大会の特徴だったと思います。また，J・S・メトカーフ・マンチェスター大学教授による招待講演 "Evolution and Competition: A Reappraisal"が行われたのも，この 12 回大会でした。

今回の 22 回大会では，「選好の進化」という視点を組み入れて，引き続き進化経済学が進むべき道（方向性）を考えてみたいとしてテーマ設定をしました。即ち，人びとの行動の心理的・社会的基盤というミクロの側面が，制度や経済システムの進化というマクロな側面にどのようにつながるのかを考察することを今大会の主要な課題としました。

セッション数は，ポスターセッションを加えて 15，報告数は 46 でした。ポスターセッションの 6 報告については，昨年京都大会でも実施された 1 分間スピーチが行われました。学会参加者は，2 日間でのべ約 130 名で，年度末であったため，新学期への準備などもあって参加を断念せざるをえなかった会員もおられたと聞きました。それでも，第 1 日目の夕刻に開催された懇親会には，80 名ほどの皆さまに参加していただきました。この懇親会では，学会の初代会長であられた瀬地山敏先生からのスピーチもあり，進化経済学と本学会の来し方行く末を改めて考えさせられる内容のものでした。

1 日目は，3 会場（教室）で合計 6 つのセッションが生まれ，瀬尾崇会員，吉井哲会員，稲水伸行会員をファシリテータとするユニークな企画セッション「『進化経済学とは何か？』を若手で考える（実践編）」では熱のこもった議論と討論が展開されたとのこと。午後には，第 2 回進化経済学会賞が井上寛康会員に授与され，井上会員による受賞記念講演「複雑さをデータで取り入れる」が行われるとともに，八木紀一郎会員が学会フェローに就任されました。

2 日目には，4 会場（教室）で 7 つのセッションが組まれました。午後のプレナリーセッションでは，東京大学の亀田達也先生による「モラルの起源を考える－実験社会科学からの問い」と東京農業大学の網谷祐一先生による「熟慮的理性の起源をさぐる」の 2 つの報告がなされました。周知のように亀田先生は『モラルの起源－実験社会科学からの問い』（岩波新書）を，網谷先生は『理性の起源－賢すぎる，愚かすぎる，それが人間だ』（河出ブックス）を 2017 年に上梓されています。

これら 2 書の手法や対象は異なっていますが、人の心の特徴として強調している点は共通していると考えます。情動が重要であること、他者への共感の能力が備わっていること、そして格差や不公平を嫌うことなどがそれです。これらは、昨年 9 月に開催されたオータムコンファレンスから継続する課題ですが、これらをどのようにして進化経済学の中に組み入れることができるのか、あるいはできないのかを論ずるのは、われわれにも課された大切な課題なのではないかと思えます。

九州大学の箱崎キャンパスは、本年 9 月末には新キャンパスである伊都キャンパスへの完全移転を控えており、10 月以降には取り壊しを待つとも古いキャンパスです。そのため、ポスターセッションの会場は、他のセッション会場から離れた演習室を使用せざるを得ず、ポスター報告をされた方々には不便と不満を感じられたのではないかと推察いたします。また、学会の準備については、九大のスタッフが 2 名しかおらず、大会事務局を担当し八面六臂の活躍をしていただいた九州産業大学の平方裕久先生や福岡女子大学の岩下伸朗先生のご助力がなければ到底なしえなかったと思えますし、学会当日の運営についても、運営スタッフとして参加してくれた大学院生のほとんどが留学生であったために、数多くの不手際があったのではないかと思えます。それでも 2 日間の学会を曲がりなりにも終えることができたのは、報告者、司会者の皆さま、そして学会会長、副会長と学会事務局のご助力とご協力があったことと、心より感謝を申し上げます。最後に、次回の名古屋工業大学での第 23 回大会が大きな成功を収められることを祈念いたしまして、第 22 回大会の開催の報告といたします。

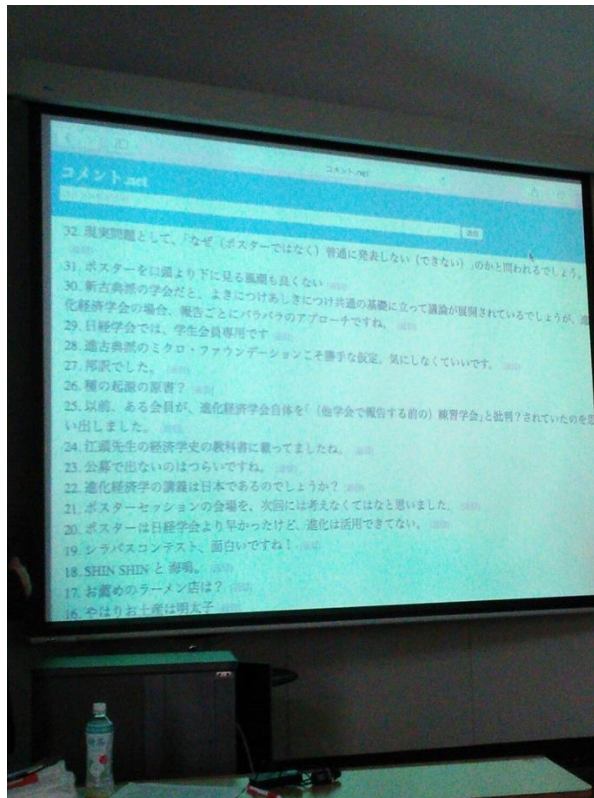


## 進化経済学会若手セミナー開催報告

瀬尾 崇（金沢大学）

今回の若手セミナーは、初めての試みとして、企画セッションに応募し、年次大会のオフィシャルなプログラムの一つとして開催された。若手（と思われる）会員を中心に、初代会長の瀬地山先生をはじめとする幅広い年齢層の参加者が集まってくださり、ここ数年の若手セミナーの状況を振り返ると、予想をはるかに超える盛況であったように思われる。

今回の企画セッションのテーマは、昨年度の京都大会から引き続いて、「『進化経済学とは何か』を若手で考える（実践編）」とした。京都大会のオータムコンファレンスで、西部忠現会長と塩沢由典元会長が話されたような、進化経済学の「そもそも」論を、若手会員が話すことになった場合、若手会員は「進化経済学とは何か？」にどう答えるだろうか。このようなテーマ設定のもとで、若手会員を中心に議論しさまざまな意見を共有しながら、今後の進化経済学の発展に寄与していこう、という趣旨で開催することになった。



セッションでは、趣旨に賛同してくださった数名の若手会員に話題提供として、ご自身のご研究と関連づけながら、進化経済学とは何か？を自由に話をしていただき、その後、フロア全体で意見交換を行った。セッション中には、今回の若手セミナーのもう一つの新しい試みとして、「コメント.net」というアプリを使用した。これは、スマートフォン等にQRコードを読み込むと、無記名で意見を投稿できる掲示板機能のアプリである（写真を参照）。なかなか発言しにくいような率直な意見や、オフィシャルなセッションでは時間の制約もあって発言できない些細な気付きでも、気軽に意見表明できるという利点がある。セッションでは、フロアからの意見を随時リアルタイムに投影し、意見交換の際にはこれも活用しながら議論するという形で進行した。セッション中に投稿された書き込みは、良くも悪くも現在の若手セミナーの状況を反映していると思われるため、選

別することなくすべて紹介させていただきたい。

-----以下、書き込み一覧-----

- 70. 鳴かなかった手を挙げられない気の弱い参加者向けに良いかも。[返信]
- 71. 鳴かなかった→なかなか[返信]
- 69. jee では進化経済学をどう定義づけているんでしょ？[返信]
- 68. セッションのテーマを call for papers の前に決めて募集するのはどうですか？[返信]
- 63. 仮想株式市場のキット（なんて名前だったか）はどうなったのか。[返信]
- 65. U-MART です。[返信]
- 67. あれは何か成果を出したのでしょうか？[返信]
- 62. そういえば ABM も最近少なくなった気がします。[返信]
- 64. 関連の WEHIA には一定いるのに。[返信]
- 61. 進化経済学会が発足した初期の頃は、新しい経済学を夢見る熱気のようなものが強くあったように思うのですが、最近ややそれが薄れているような気も・・・[返信]
- 60. 経営学だとあえて「進化経営学」とか言わなくてもみんな進化的アプローチなら、逆になぜわざわざ進化経済学会に来るのかなと。[返信]
- 66. 進化的な考えの影響を受けていますが、進化(経済学)のことで分からないことがあるからだと思います[返信]
- 59. 懇親会は 18:00 からじゃなくて 18:30 からなんですよね[返信]
- 56. 返信を押して入力[返信]
- 55. 返信です[返信]
- 57. ありがとうございます。[返信]
- 54. 52 はどういう仕組みで投稿？[返信]
- 53. 日本経済学会でも普通に進化経済学のアプローチの報告ばかりになるのが目的？[返信]
- 51. そもそも「進化経済学」の講座や研究室どころか授業科目すらほとんどありませんよね。[返信]
- 50. 他の所属されてる学会と進化経済学会をどのように使い分けてますか？[返信]
- 52. あまり使い分けてないですね。進化経済学会がバラバラな専門分野の寄せ集めのようになっている証左かもしれません。[返信]
- 49. 有賀会長は経済物理学を重要だと今日も発言されたけど、何故でしょうね。彼がこの会場に居ないのが残念。[返信]
- 48. 経済学で進化という概念を使わなければ説明できない事象はありますか？[返信]
- 47. 進化ゲーム理論の専門家がこの学会にコミットしないのはなぜでしょうか。アプローチの違い？[返信]
- 46. そもそも何を目的に進化経済学会に入会してくるのか[返信]
- 45. 進化経営学ってないんですか？[返信]
- 44. 例えば観光部会はどこが進化経済学なののでしょうか？ 少なくとも経済物理学とは接点がないような。[返信]
- 58. 明日のセッションで、この疑問に答えてくれそうな報告ありませんでしたっけ？[返信]

43. メジャーかどうかではなく、解明したいことからアプローチを考えてみる？[返信]
42. 現象をピュアに見るだけでは、社会科学の理論につながらないということはありませんか？  
[返信]
41. 経済物理学アプローチに立脚していないとリジェクト？[返信]
40. 両方聞いたけど、分かりません。あまりに違いすぎます。[返信]
39. 一枚岩だと退会せざるを得ない会員が出てくるのでは？[返信]
38. 八木講演と井上講演の共通基盤は？[返信]
37. アプローチだけで議論するなら「進化経済学会」でなく「経済物理学学会」でもいいのではない  
か[返信]
36. 口頭もポスターも成果発表のための「手段」なので、発表者の目的に合わせて適切な手段を  
選択すればよいと思います。[返信]
35. 王道の三学会[返信]
34. ポスターを共創の場であると明確に位置づけてしまう[返信]
33. ニコニコ動画みたいに報告者のスライドに弾幕できたら？[返信]
32. 現実問題として、「なぜ（ポスターではなく）普通に発表しない（できない）」のかと問われ  
るでしょう。[返信]
31. ポスターを口頭より下に見る風潮も良くない[返信]
30. 新古典派の学会だと、よきにつけあしきにつけ共通の基礎に立って議論が展開されているで  
しょうが、進化経済学会の場合、報告ごとにバラバラのアプローチですね。[返信]
29. 日経学会では、学生会員専用です[返信]
28. 進古典派のミクロ・ファウンデーションこそ勝手な仮定。気にしなくていいです。[返信]
27. 邦訳でした。[返信]
26. 種の起源の原書？[返信]
25. 以前、ある会員が、進化経済学会自体を「（他学会で報告する前の）練習学会」と批判？され  
ていたのを思い出しました。[返信]
24. 江頭先生の経済学史の教科書に載ってましたね。[返信]
23. 公募で出ないのはつらいですね。[返信]
22. 進化経済学の講義は日本であるのでしょうか？[返信]
21. ポスターセッションの会場を、次回には考えなくてはなと思いました。[返信]
20. ポスターは日経学会より早かったけど、進化は活用できてない。[返信]
19. シラバスコンテスト、面白いですね！[返信]
18. SHIN SHIN と 海鳴。[返信]
17. お薦めのラーメン店は？[返信]
16. やはりお土産は明太子[返信]
15. Wi-Fi 使えないんですか？[返信]
14. 懇親会は福岡の海の幸が出るのですか？[返信]
13. ぜひ使います[返信]
12. 結構衝撃的ではいかと思いましたが。[返信]
11. ネットワーク構造の安定性が気になりました[返信]

10. 便利ですね[返信]
9. 面白いです[返信]
8. 伯方の塩[返信]
7. 面白いです[返信]
6. やっちゃんぞー[返信]
5. 進化経済学とは何か[返信]
4. 授業でも使えそうですね。[返信]
3. スゲー[返信]
2. お疲れさまです[返信]
1. 学会賞の井上講演をどう思いました？[返信]

-----

今回の若手セミナーでは、非常に多くの参加者がセッションに集まってくださり、またアプリを通してさまざまな意見が寄せられ、意見交換ができた。話題提供をしてくださった若手会員の方々のプレゼンおよび書き込みの中には、これから進化経済学会の運営にとって参考になりそうな貴重な意見も多々あったように思われる。

次回以降の若手セミナーでは、現在、運営を担当している3名に加えて、今回話題提供を引き受けてくださった方々など多くの若手会員に企画・運営に関わっていただけそうな見通しも確認できた。引き続き、より多くの若手会員に今後の若手セミナーの企画・運営に積極的に加わっていただきたい。



## 第 22 回進化経済学会九州大会理事会議事録

日時：2018 年 3 月 29 日（木）12:00~13:00

場所：九州大学経済学部 6 階大会議室

出席者：有賀裕二（会長）、西部忠（副会長）、磯谷明德（大会実行委員長）、浅田統一郎、池田毅、依田高典、植村博恭、宇仁宏幸、岡村東洋光、小川一仁、吉地望（監査）、佐々木啓明、澤邊紀生、塩沢由典、瀬尾崇、谷口和久、徳丸宣穂、中原隆幸、原田裕治、服部茂幸、廣瀬弘毅（監査）、福留和彦（会計）、八木紀一郎、吉田雅明、吉田昌幸、荒川章義（事務局）

欠席（委任状あり）：青山秀明、江頭進、藤本隆宏、宮本光晴

欠席：

### 1. 報告

#### 1.1 有賀裕二会長挨拶

有賀会長より挨拶があった。

#### 1.2 磯谷九州大学大会実行委員長より大会開催状況報告

磯谷大会実行委員会委員長より開催状況報告があった。

#### 1.3 会勢報告

荒川事務局担当理事より資料に基づき会勢報告があった。

#### 1.4 選挙管理委員会報告

池田選挙管理委員会委員長より資料に基づき第 7 回進化経済学会役員選挙の開票結果について報告があった。

#### 1.5 日本経済学会連合報告

植村担当理事・池田担当理事より資料が回覧に供された。

#### 1.6 各部会報告

ニューズレターに掲載のため詳細は省略した。

#### 1.7 若手セミナー開催報告

瀬尾担当理事より 3 月 29 日午後 3 時半から 5 時半まで若手セミナーが開催されたことが報告された。

#### 1.8 次年度開催校名古屋工業大学徳丸理事より挨拶

次年度回最高名古屋工業大学の徳丸理事より、来年度のオータムコンファレンスを 9 月 29 日（土）、本大会を 3 月 16 日（土）・17 日（日）に開催予定であることが報告された。

### 2. 議題

#### 2.1 入退会について

荒川担当理事より、入会希望者及び退会者の提案がなされ、提案通り了承された。

#### 2.2 2016 年度会計決算報告

福留会計担当理事が 2016 年度の会計決算報告を行い了承された。

#### 2.3 2017 年度決算報告

福留会計担当理事が 2016 年度の会計決算報告を行い、了承された。

#### 2.4 2018 年度予算について

福留会計担当理事が 2017 年度の予算案について説明を行い，了承された。

#### 2.5 第 3 回学会賞の募集要項について

宇仁学会賞選考委員会委員長より，第 3 回学会賞の募集要項が提案され，了承された。

また次年度の学会賞選考委員会を，江頭進（委員長），青山秀明，浅田統一郎，宇仁宏幸の 4 名で構成することが提案され，了承された。

#### 2.6 フェローの選任について

磯谷フェロー選考委員会委員長より，八木紀一郎会員をフェローに選任することが提案され，了承された

#### 2.7 2018～2021 年度の体制について

2018～2021 年度の学会の執行部の体制について，荒川事務局担当理事より資料に基づき説明があり，了承された。

#### 2.8 「進化経済学会」の Google 検索結果について

「進化経済学会」を Google で検索すると，「このサイトはハッキングされている可能性があります」という警告が出ていた件について，現在では出なくなっていることが荒川事務局担当理事より報告され，了承された。

### 3. その他

特になし。

文責：荒川章義事務局担当理事

2018 年 1 月 27 日

## 第7回進化経済学会役員選挙の結果について

進化経済学会選挙管理委員会

委員長 池田 毅  
内藤 敦之  
村上 弘毅

2017年12月に行われた第7回進化経済学会役員選挙の開票結果について、お知らせいたします。厳正なる開票作業の結果、次期の役員は以下のように決定されました。

会長：西部 忠（専修大学）

副会長：磯谷 明德（九州大学）

理事（28名）：

青山 秀明（京都大学）

有賀 裕二（中央大学）

荒川 章義（立教大学）

宇仁 宏幸（京都大学）

江頭 進（小樽商科大学）

吉地 望（北海道武蔵女子短期大学）

黒瀬 一弘（東北大学）

橋本 敬（北陸先端科学技術大学院大学）

廣瀬 弘毅（福井県立大学）

福留 和彦（大和大学）

藤本 隆宏（東京大学）

八木 紀一郎（摂南大学）

吉田 雅明（専修大学）

浅田 統一郎（中央大学）

池田 毅（立教大学）

依田 高典（京都大学）

植村 博恭（横浜国立大学）

佐々木 啓明（京都大学）

澤邊 紀生（京都大学）

塩沢 由典

瀬尾 崇（金沢大学）

出口 弘（東京工業大学）

徳丸 宜穂（名古屋工業大学）

中原 隆幸（阪南大学）

鍋島 直樹（名古屋大学）

西 洋（阪南大学）

服部 茂幸（同志社大学）

原田 裕治（摂南大学）

以上

## 第 22 回進化経済学会九州大会総会議事録

日時：2018 年 3 月 29 日（木）13:00~14:0

場所：九州大学箱崎キャンパス 101 教室

### 1. 議長の選出

高哲男会員が議長に選出された。

### 2. 有賀裕二会長挨拶

有賀会長より九州大学大会開催に当たって挨拶があった。

### 3. 磯谷明德九州大学大会実行委員長より開催状況報告

磯谷大会実行委員長より開催状況報告があった。

### 4. 若手セミナー開催報告

瀬尾担当理事より 3 月 29 日午後 3 時半から 5 時半まで若手セミナーが開催されたことが報告された。

### 5. 会勢報告

荒川事務局担当理事より会勢報告があった。

### 6. 2016 年度決算報告ならびに監査報告

福留会計担当理事より 2016 年度決算報告が行われ、吉地監事・廣瀬監事より間違いがない旨報告が行われた。

### 7. 2017 年度決算中間報告

福留会計担当理事より 2017 年度決算の中間報告が行われた。

### 8. 2018 年度予算について

福留会計担当理事より 2017 年度予算について提案がなされ、了承された。

### 9. 選挙管理委員会報告

池田選挙管理委員会委員長より、第 7 回進化経済学会役員選挙の開票結果について報告があった。

#### 10. 2017 年度フェローの発表と記念品贈呈式

2017 年度フェローとして、八木紀一郎会員が選出されたことが発表され、記念品の盾の贈呈式が行われた。

#### 11. 2017 年度学会賞の発表と記念品贈呈式

2017 年度の学会賞として、井上寛康会員の“Analyses of aggregate fluctuations of firm production network based on the self-organized criticality model” *Evolutionary and Institutional Economics Review* December 2016, Volume 13, Issue 2, pp 383–396 が選出されたことが発表され、記念品の楯と賞金の贈呈式が行われた。

#### 12. 次年度開催校名古屋工業大学徳丸宣穂理事より挨拶

次年度回最高名古屋工業大学の徳丸理事より、来年度のオータムコンファレンスを 9 月 29 日（土）、本大会を 3 月 16 日（土）・17 日（日）に開催予定であることが報告された。

文責：事務局担当理事荒川章義

【資料】

進化経済学会会勢

2017年9月15日時点

進化経済学会会勢状況	
個人会員	373 (入会 3 退会 14 休会 3 含む)
個人終身正会員	7
院生会員	46 (休会 3 含む)
賛助会員/団体	1
賛助会員/特別	0
招待会員	2
個人準会員	1
430	

2018年3月15日時点

進化経済学会会勢状況	
個人会員	374 (入会 3 休会 4 退会 3 含む)
個人終身正会員	7
院生会員	46 (入会 1 休会 3 含む)
賛助会員/団体	1
賛助会員/特別	0
招待会員	2
個人準会員	1
431	

### 第3回進化経済学会学会賞応募要項

2018年3月29日

進化経済学会学会賞選考委員会

江頭 進（委員長）、青山秀明、浅田統一郎、宇仁宏幸

第3回進化経済学会学会賞の選考対象となる会員の著作を以下の要項で募集します。この賞の選考についての詳細は、学会ホームページに掲載されている「選考にかんする細則」によることとされていますので、応募の際にはそれをご参照ください。多数の応募をお待ちします。

#### 1. 選考対象

募集締め切り時を基準に過去3年以内（今回の場合、2015年5月1日－2018年4月30日）に公表された会員の著作（論文、著書）。

なお、上記の期間内に *Evolutionary and Institutional Economics Review* に掲載された上記の応募資格をみたま論文、および昨年度応募し今年度も応募期間に合致する著作は自動的に選考対象となります。

#### 2. 応募方法

自薦または他薦による。応募者または推薦者は、推薦対象の著作2部（コピーあるいは電子ファイルも可）を「推薦理由書」とともに選考委員会に送付する。

「推薦理由書」は、学会のホームページからもダウンロードできます。

#### 3. 受付期間と応募宛先

2018年4月1日から4月30日（締切日消印有効）

電子応募もできますが、必ず受け取りの確認を得てください。

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号 小樽商科大学商学部江頭進研究室内「進化経済学会学会賞選考委員会」宛て

あるいは [egashira@res.otaru-uc.ac.jp](mailto:egashira@res.otaru-uc.ac.jp) 宛て

#### 4. 公表・授賞

2018年のオータムコンファレンスで公表し、翌年3月の会員総会で賞状と副賞（賞金）を与える。

進化経済学会学会賞推薦理由書

年 月 日 受付 受付番号

推薦者 (連絡メ アド)	
推薦著作*	公表形態 ( )、公表時期 ( 年 月)
著者 (連絡メ アド)*	推薦著作公表時会員籍があったかどうか (有・無)**
推薦 理由	
推薦著作の評価 にあたって留意 すべき点	

\* 対象となる著作の要件は「学会賞規程」および「選考に関する細則」を参照。

\*\*この情報は、記載を省略してかまいません。

進化経済学会 第22回九州大会 総会  
会計関係報告

2018年3月29日(土) 九州大学  
会計担当理事・福留和彦

1. 2016年度(平成28年度)収支計算報告等

資料1「監査済 2016年度収支計算書決算報告」参照

2. 2017年度収支計算中間報告(4/1/2017~2/28/2018)「◆」印は3/31見込を参照

資料2「2017年度収支計算書中間報告」参照

2-1. 収入側

会費収入状況 3,347,000円(2/28時点)

大会収入◆: オータム100,000円, 本大会500,000円は前年度大会(京都大会)を参考

2-2. 支出側

大会費◆

英文誌編集刊行費(シュプリング・ジャパン)

通信費(会計監査書類の郵送代)◆

事務用品費(楯代)◆

謝金(サーバー代等)

送金手数料(出金口座からの各種振込, 入金口座から出金口座への移金)

事務委託費(国際文献社への支払)◆

部会補助費(2件: 現代日本の経済制度部会, 観光学研究部会)◆

経済学会連合会費

学会賞◆

予備費(役員選挙諸費用)

次期繰越金(2017年度繰越金)◆ 4,665,230円(※見込み)

\*参考: 2016年度繰越金 4,709,022円

2-3. 貸借対照表

3. 2018年度予算

資料3「進化経済学会 2018年度予算」参照

3-1. 収入

会員収入: 2017年度実績に基づいているが, 会勢拡大による会費収入の増額が求められる

大会収入: 2017年度九州大会の結果が出ていないが, ここ2ヵ年(2015年度東京大会及び2016年度京都大会の実績を踏まえて例年より増額250,000円(オータム: +50,000円, 本大会: +200,000円))

3-2. 支出

大会費: 2017年度と同額を維持

英文誌刊行費: シュプリングの2017年度請求額に基づき現状維持



通信費：2017 年度と同額を維持

事務用品費：2017 年度に基づき 20,000 円減額

謝金：2017 年度と同額を維持

送金手数料：2017 年度と同額を維持

業務委託費：国際文献社の 2017 年度請求額に基づき現状維持

部会補助費：2017 年度と同額を維持（若手セミナー分含む）

学会賞：2017 年度実績に基づき現状維持（今年度実績 50,000 円）

経済学会連合会費および予備費は 2017 年度と同額を維持

※資料 4 「繰越金推移 2005～2017 年度（予想）」

会計担当理事引継ぎ事項：繰越金の 400 万円台の維持

進化経済学会  
2016年度 収支計算書決算報告  
(2016年4月1日~2017年3月31日)

収入	予算案	決算額	増減	支出		予算案	決算額	増減
				大会費	その他			
全費	3,722,000	3,747,000	25,000	大会費	1,100,000	1,610,671	510,671	
正会員当該年度	3,150,000	3,150,000	0	オーストラリア	400,000	312,095	-87,905	
正会員増年度分	250,000	250,000	0	本大会	700,000	1,298,576	-598,576	
終身正会員当該年度	100,000	100,000	0	英文刊行費	2,400,000	2,160,000	-240,000	
防生会当該年度	120,000	120,000	0	通信費	100,000	0	-100,000	
防生会増年度分	23,000	23,000	0	交通費	0	0	0	
防生会	2,000	2,000	0	事務用品費	100,000	49,260	-51,740	
賛助会員当該年度	50,000	50,000	0	印刷費	20,000	16,266	-3,734	
賛助会員増年度分	50,000	50,000	0	送金手数料	20,000	8,128	-11,872	
その他(前年度)	750,000	1,117,000	367,000	会議費	0	0	0	
オーストラリア	150,000	178,000	28,000	印刷費	0	0	0	
本大会	800,000	741,000	141,000	事務委託費	650,000	604,937	-45,063	
京都大学経済学会助成金	0	200,000	200,000	国際交流費	0	0	0	
私債	0	0	0	国際交流費	100,000	29,900	-71,100	
寄付金	0	0	0	学費	35,000	0	-35,000	
書籍刊行代	0	0	0	学費	150,000	50,000	-100,000	
印刷費	14,640	14,640	0	学費	0	44,100	44,100	
印刷費	0	0	0	学費	0	0	0	
印刷費	2,240	2,034	-206	学費	100,000	0	-100,000	
当該年度	4,488,880	4,922,808	434,028	当期支出合計	4,775,000	4,571,262	-203,738	
前年度繰越金	4,357,378	4,357,378	0	総計	4,071,258	4,709,022	637,764	
前年度繰越金	8,846,258	9,280,284	434,028	総計	8,846,258	9,280,284	434,028	

(単位:円)

2017年12月31日  
貸借対照表  
(2017年3月31日)

借方	貸方
流動資産	流動負債
現金	前受金
預金	普通預金
郵便振替	郵便振替
未収金	未収金
	次期繰越金
	前年度繰越金
合計	合計
4,759,022	4,759,022

2017年3月31日  
財産目録  
(2017年3月31日)

科目	管理部門	金額
流動資産	金額	
現金		
預金	合計担当理事	1,187,857
	学会事務局(国際文庫)	2,964,836
未収金	第21回大会残金	606,329
資産合計		4,759,022

科目	金額
負債および正味財産の部 <td></td>	
流動負債	50,000
前受金	50,000
負債合計	50,000
正味財産合計	4,357,378
前年度繰越金	351,644
当期収支差額	4,759,022

上記の通り相違がないことを確認いたしました

2017年 12月 25日  
古地 望

上記の通り相違がないことを確認いたしました

2018年 1月 10日  
廣瀬 弘毅

進化経済学会  
2017年度 収支計算書中間報告  
(2017年4月1日～2018年2月28日)

収入	予算案	決算額	増減	支出	予算案	決算額	増減
会費	3,222,000	3,347,000	125,000	大会費	1,100,000	0	-1,100,000
				オーストラリア	400,000	0	-400,000
				本大会	700,000	0	-700,000
				英文誌編集発行費	2,200,000	2,160,000	-40,000
				通信費	20,000	0	-20,000
				交通費	0	0	0
				事務用品費	100,000	0	-100,000
				謝金	20,000	16,266	-3,734
				送金手数料	20,000	6,566	-13,434
				印刷費	0	0	0
				事務委託費	650,000	552,989	-97,018
				国際交流費	0	0	0
				11 部会補助費	150,000	0	-150,000
				経済学系連合会費	35,000	35,000	0
				学食費	100,000	0	-100,000
				学食費	0	0	0
利用料	2,240	0	-2,240				
当期収入合計	3,838,880	3,347,011	-491,869	予算費(役員選挙費用)	100,000	79,230	-20,770
前期繰越金	4,709,022	4,709,022	0	当期支出合計	4,495,000	2,850,134	-1,644,866
総計	8,547,902	8,056,033	-491,869	繰越金	4,062,902	5,205,899	1,152,997
				総計	8,547,902	8,056,033	-491,869

2017年度 収支計算書中間報告(2018年3月31日時点の見込み)  
(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入	予算案	決算額	増減	支出	予算案	決算額	増減
会費	3,222,000	3,447,000	225,000	大会費	1,100,000	1,100,000	0
				オーストラリア	400,000	400,000	0
				本大会	700,000	700,000	0
				英文誌編集発行費	2,400,000	2,160,000	-240,000
				通信費	100,000	1,080	-98,920
				交通費	0	0	0
				事務用品費(※補代)	100,000	17,720	-82,280
				謝金	20,000	16,266	-3,734
				送金手数料	20,000	8,492	-11,508
				印刷費	0	0	0
				事務委託費	650,000	575,592	-74,408
				国際交流費	0	0	0
				14 部会補助費	100,000	64,100	-35,900
				経済学系連合会費	35,000	35,000	0
				学食費	150,000	50,000	-100,000
利用料	14,640	14,640	0				
当期収入合計	3,838,880	4,063,688	224,808	予算費(役員選挙費用)	100,000	79,230	-20,770
前期繰越金	4,709,022	4,709,022	0	当期支出合計	4,775,000	4,107,480	-667,520
総計	8,547,902	8,772,710	224,808	繰越金	3,772,902	4,665,230	892,328
				総計	8,547,902	8,772,710	224,808

貸借対照表  
(2018年2月28日現在)

借方	貸方
流動資産	流動負債
現金	前受会費
預金	普通預金
郵便振替	3,280,972
仮払金	正味財産
	1,100,000
	次期繰越金
	前期繰越金
	当期差益
合計	5,235,899 合計

財産目録  
(2018年2月28日現在)

科目	管理部門	金額
流動資産		
現金		
預金	会計担当理事	854,927
	学会事務局(国際文庫)	3,280,972
仮払金	大会準備金	1,100,000
資産合計		5,235,899

(負債および正味財産の部)

科目	通用	金額
流動負債		
前受会費		30,000
負債合計		30,000
正味財産合計	前期繰越金	4,709,022
	当期収支差額	496,877
負債及び正味財産合計		5,235,899

## 【資料3】

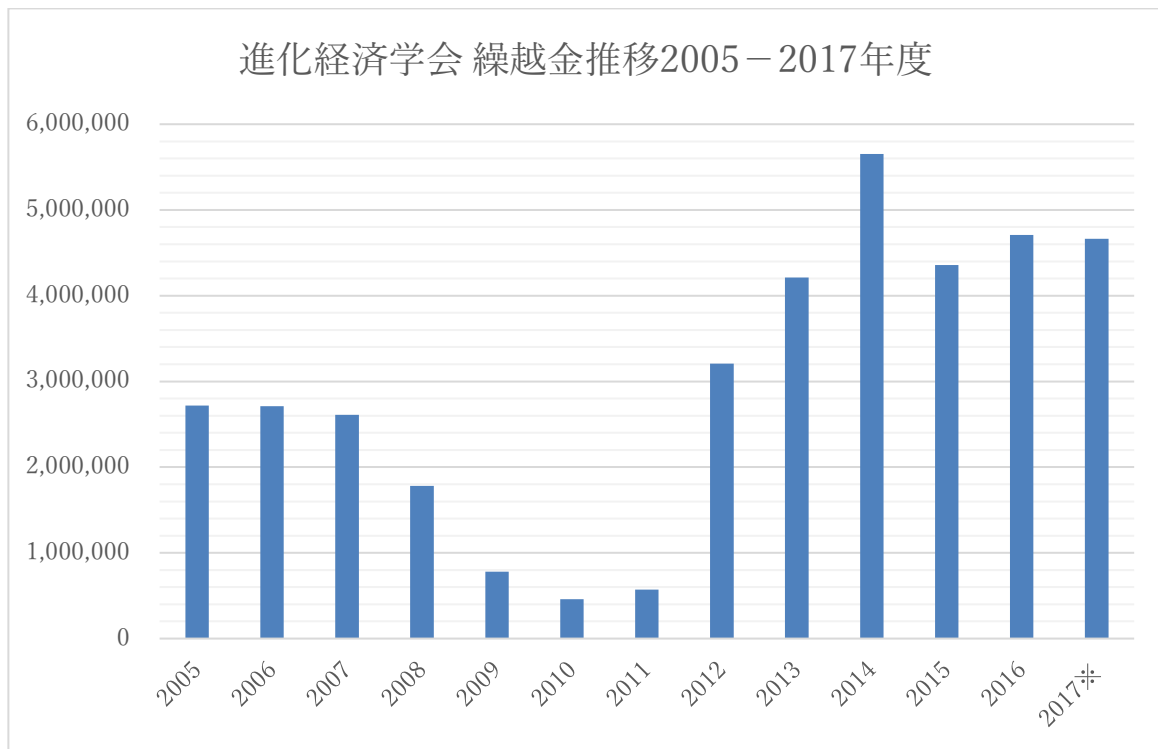
2018年3月29日

進化経済学会 2018年度予算  
(2018年4月1日 ~ 2019年3月31日)

(単位:円)

収入予算		支出予算	
	予算額		予算額
2016年度からの繰越(見込み)	4,665,230	大会費	1,100,000
		(内訳)	
		オータムコンファレンス	400,000
		本大会	700,000
		英文誌編集刊行費	2,200,000
会費	3,102,000		
(内訳)			
正会員(2017年度実績)	2,910,000	通信費	20,000
終身正会員(同上実績)	50,000	事務用品費	80,000
院生会員(同上実績)	90,000	謝金	20,000
準会員(同上実績)	2,000	送金手数料	20,000
賛助会員(同上実績)	50,000		
		事務委託費	650,000
大会収入	850,000		
(内訳)		部会補助費	150,000
オータムコンファレンス	150,000	学会賞	100,000
本大会	700,000	経済学会連合会費	35,000
書籍売却代(2017年度実績)	0	予備費	100,000
定期購読料(同上)	0	小計	4,475,000
		2019年度への繰越	4,142,230
総計	8,617,230	総計	8,617,230

【資料 4】



## 2017 年度部会報告

### ■「現代日本の経済制度」部会報告

(第1回研究会)

日時：2017年12月3日(日) 15-17時

場所：摂南大学経済学部

プログラム：

Robert Boyer, Two Dialectics between Polity and Economy: Asian and European Integration Compared

(第2回研究会) 制度と統治部会との共催

日時：2018年3月1日(木) 13:00~17:30

場所：阪南大学あべのハルカスキャンパス

プログラム：

第1報告

平野泰朗氏(摂南大学)「日本企業の多国籍化と企業主義的レギュレーションの機能不全」

第2報告

八木紀一郎氏(摂南大学)「討議倫理学と自然化された社会契約論ノート」

第3報告

山田鋭夫氏(名古屋大学・名)「内田義彦における交換的平等と人間的平等」

文責：原田裕治(摂南大学)

### ■「制度と統治」部会報告

第1回 進化経済学会・「制度と統治」部会

日時：2017年4月4日(火曜日) 13:00~17:00

場所：阪南大学あべのハルカスキャンパス・第1セミナー室

テーマ：「現代制度経済学における貨幣論・行為論・認識論の到達点：J.R. コモンズ『制度経済学』からの省察」

プログラム：

13:00~14:00 北川亘太(関西大学経済学部) “The Driving Forces of Diffusion in John R. Commons' Institutional Economics”

14:00~15:00 黒澤悠(大阪市立大学大学院経済学研究科・院) “The Works of Alain Desrosières and French Convention Theory”

15:00~15:20 休憩

15:20~17:00 ブルーノ・テレ(フランス国立科学研究院) “The multiple faces of the hegemony of (North American) Financial Economics”

第2回 進化経済学会・「制度と統治」部会

(新潟大学共生経済学研究センターとの共催)

日時：2017年6月24日(土曜日)13:00~17:00

場所：阪南大学あべのハルカスキャンパス・第2・3セミナー室

テーマ：「八木紀一郎著『国境を越える市民社会 地域に根ざす市民社会』(櫻井書店, 2017年)を読む」

プログラム：

13:00~13:40 第一評者 若森章孝氏(関西大学名誉教授)「進化的政治経済学と市民社会論の再定位—八木社会科学の到達点」

13:40~14:20 第二評者 植村邦彦氏(関西大学教授)「〈国境を越える市民社会〉とは何か」15:00~15:20 休憩

14:20~14:40 休憩

14:40~15:20 第三評者 中村健吾氏(大阪市立大学教授)「EUにおけるcivic integrationとcivic citizenship—移民・難民は管理・庇護の対象か, それとも行為・権利の主体か?—」

15:20~16:00 第四評者 宇仁宏幸氏(京都大学教授)「グローバルなガバナンスの理念と現実」

16:00~16:40 著者によるリプライリプライ

16:00~終了まで 全体的なディスカッション

### 第3回 進化経済学会・「制度と統治」部会

(「現代日本の経済制度」部会との共催。詳細は、「現代日本の経済制度」部会第2回の報告を参照)

### 第4回 進化経済学会・「制度と統治」部会

日時：2018年3月20日(火曜日)14:00~17:00

場所：阪南大学あべのハルカスキャンパス・第1セミナー室

テーマ：「コンヴァンション・ANTアプローチの応用的展開」

プログラム：

14:00~14:40 第一報告 立見淳哉(大阪市立大学)「媒介とデザイン：地場産品の価値づけネットワーク」

14:40~15:20 第二報告 山本泰三(四天王寺大学ほか非常勤)「経済学の行為遂行性という問い：M.カロンらの所説」

15:20~15:40 休憩

15:40~16:20 第三報告 北川亘太(関西大学)「遂行性と配置再編—研究者・言明・エージェントの相互関係」

16:20~17:00 質疑・ディスカッション

文責：巖成男（立教大学・部会事務局）

### ■「観光学研究部会」部会報告

2017年度、観光学研究部会では、東京・大阪・福岡において以下の研究会を開催した。

#### 第32回研究会

日付 2017年9月11日（月）

場所 立教大学

講演1 板垣武尊（立教大・院）「バックパッカーのフラッシュパッカー化に伴うバックパッカー目的地の変容」

講演2 【招待講演】塩月亮子（跡見学園女子大学）「沖縄の聖地とツーリズム」

#### 第33回研究会

日付：2017年12月8日（金）

場所：大阪市立青少年センター（KOKOPLAZA）

講演1 間中光（和歌山大・院）「被災後の観光展開と地域社会のレジリエンス」

講演2 【招待講演】津田康英（奈良県立大学）「土産品小売と道の駅の活用」

#### 第34回研究会

日付：2018年3月28日（水）

場所：西新プラザ

講演1 【招待講演&チュートリアル】外柵保大介（下関市立大学）「進化経済地理学の諸特徴とアプローチ」

講演2 【特別講演】内門博（西日本新聞）「新聞記者が見た九州の「観光」」

いずれの会も盛況であり、かつ学術的な刺激に富んでいたことを付記しておく。特に、第34回研究会の外柵保准教授の講演は、進化経済学会と非常に親和性の高いテーマであり、多くの学会員が熱心に聴講した。

また、九州大学で行われた本大会では、当部会の深見准教授（長崎大学）が「学際科学としての『九州学』-地域・経済・政策・観光の視点から-」をオーガナイズし、こちらも大きな成功を収めた。今後も地道に部会の研究会を続けると共に、大会では積極的に企画セッションを提案していきたい。（文中敬称略）

文責：井出明（金沢大学）

### ■「北海道・東北部会」部会報告

進化経済学会北海道・東北部会は2017年度、以下の活動を行いましたので、ご報告申し上げます。

北海道・東北部会研究会



日時：2017年11月12日

場所：北海道大学経済学部研究棟3F大会議室

プログラム

14：00～15：00 吉地 望(北海道武蔵女子短大)

「北海道の高校生の定住志向とソーシャルキャピタルの関係について」

15：20～16：10 西部 忠(専修大学)

「グローバル化の未来、資本主義に代わるオルタナティブ」

文責：小林大州介(北海道大学・研究員)

## 専修大学デジタルーコミュニティ通貨コンソーシアムラボラトリー（グッドマネーラボ） 設立のお知らせ

文責 西部 忠

2018年4月、専修大学生田キャンパス1号館1410室をオフィスとし、西部忠と吉田雅明が中心となって「専修大学デジタルーコミュニティ通貨コンソーシアムラボラトリー」、通称「グッドマネーラボ」を設立しました。ここでは、その背景、ミッションと活動内容、今後の予定を紹介させていただきます。

ビットコイン等の仮想通貨（暗号通貨）は、その取引所のCMがテレビで広く放映されたこともあり、世間一般で広く認知されるようになりました。2017年に数十倍以上の値上がりを見せ、資産1億円以上の「億り人」と呼ばれる投資家が数多く現れましたが、2018年に仮想通貨バブルがはじけました。1月には580億円相当の仮想通貨NEMが取引所コインチェックの口座から盗まれる事件も起き、取引所のセキュリティへの不安も高まりました。

ビットコインは、法定通貨のような中央銀行による発券管理を必要としない分散型民間「通貨」としてデザインされましたが、いま見たように、現実の仮想通貨はボラティリティが極めて高いリスクな投機的金融商品と化していて、実際の消費や投資に使用される貨幣になっていません。

現在、仮想通貨（暗号通貨）はアルトコイン、トークンも含めるとその種類は1600以上、時価総額も80兆円と日本国家の予算規模に達しています。様々な問題があるとはいえ、仮想通貨全体の質量の爆発は現行の法定通貨（国家通貨）と金融システムに大きな影響を与え、経済システム全体を転換する可能性を秘めています。それを一般の人々が安心して使える「良貨（グッドマネー）」へと転換する道はないのでしょうか。

昨今、仮想通貨の革新的フィンテックといわれる分散台帳技術「ブロックチェーン」やコンセンサス・アルゴリズム「プルーフ・オブ・ワークス」を採用しつつも、固定レート（1コイン＝1円）で一定の地域においてのみ使用することで、地域の経済やコミュニティを活性化といった地域通貨の目的を実現しようというデジタルコインが数多く生まれつつあります。岐阜県高山市で飛騨信用組合が発行管理する「さるぼぼコイン」や近鉄が沿線地域で流通させるべく実証実験を行っている「ハルカスコイン」がその代表例です。これは、仮想通貨の技術と地域通貨の理念を融合するハイブリッドであるデジタル地域通貨（仮想通貨地域通貨）を生み出そうという試みだと言えるでしょう。

いま必要なことは、仮想通貨を単なる投機的資産ではなく、実取引に広く使用可能なものとするとともに、地域通貨を単なる善意やボランティアを促進するツールに終わらせず、地域経済での貨幣循環形成により地産地消を向上させ、ショック耐性を備えた持続可能性を達成するものとするでしょう。仮想通貨（デジタルコイン）と地域通貨（コミュニティ通貨）の融合である仮想通貨地域通貨（デジタルーコミュニティ通貨）は唯一ではないにせよ、一つの重要な方向性を示唆するものです。

こうして、仮想通貨（デジタルコイン）と地域通貨（コミュニティ通貨）が融合する新たな「良貨（グッドマネー）」を産学官民で連携協力して生み出し育てて行くことをそのミッションとし、デジタルーコミュニティ通貨に関する調査研究、教育学習、普及啓蒙活動を実施し、情報共有や協議の枠組みを構築するためのコンソーシアム型のラボラトリー（研究所・実験所）を開設しました。

以下のような活動を展開していく予定です。

- A. 情報提供（ニュースレター）、研究報告（セミナー、シンポジウム、コンファレンス）、学会（RAMICS, JAFEE）
- B. 調査（助成・受託研究）、研究開発事業（社会実装）の推進
- C. 啓蒙普及（SNS, 出版, メディア）・社会制度化（会計, 税務, FP, 法制度）
- D. 教育・研修（地域通貨・仮想通貨, 電子マネー, コミュニティ・ドックの実践的知識教授, 資格制度化）

すでに、来年9月11日～15日に岐阜県高山市で開催される第5回 RAMICS(Research Association on Monetary Innovation and Community and Complementary Currency Systems)国際会議日本大会の準備や北海道仮想通貨に関する受託研究を始めました。現在、個人会員・団体会員を募集し、大学や官民の研究所の研究者を研究員とする一般社団法人設立に向けた体制準備を進めているところです。

みなさまのご理解とご協力をいただければ幸いです。

問い合わせは西部(nishibe@isc.senshu-u.ac.jp)まで。

## 進化経済学会名古屋大会（名古屋工業大学）・オータムコンファレンスのご案内

人工知能や情報コミュニケーション技術（ICT）を中核とする現代の技術発展は、知識・技能・教育のあり方、現場レベルでの労働・組織のあり方、企業・産業のあり方から、資本主義という社会経済システムのあり方に至るまで、広く深く変質させ続けるでしょう。逆に、社会経済システムの制度と動態は、技術進歩の水準と方向性を規定すると考えられます。こうした技術発展と社会経済システムの共進化という現象は、一般レベルにおいても強い関心をもたれる事柄です。しかし何よりもこれは、進化経済学の源流の一つであるシュンペーターアンが追求してきた問題に他ならないですし、また進化経済学に携わる人々にとっても重要な現代的問題だと言えるでしょう。そこで、2018年度は、「技術・産業の進化と資本主義のゆくえ」を大会テーマとし、進化経済学と社会経済システムの未来にとって重要なこの問題を考える大切な契機としたいと思います。

以下のように、2018年度のオータムコンファレンスを行います。上のような大会テーマに沿って、技術と社会経済の共進化について多角的に討論することを目的とし、工学研究者、哲学者、経済史家、経済学者による学際シンポジウムを開催します。詳細は追ってお知らせいたします。是非、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：9月29日（土）13:00-17:30 \*引き続き懇親会を開催します。

場所：名古屋工業大学4号館ホール（JR中央線鶴舞駅より徒歩8分）

名古屋大会実行委員会 徳丸宜穂（名古屋工業大学）、藤田真哉（名古屋大学）、藤田菜々子（名古屋市立大学）、吉井哲（名古屋商科大学）

### オータムコンファレンス

日時：9月29日（土）13:00-17:30

場所：名古屋工業大学4号館ホール（JR中央線鶴舞駅より徒歩8分）

講演：

伊藤孝行氏（名古屋工業大学・情報工学）

久木田水生氏（名古屋大学・哲学）

島田竜登氏（東京大学・歴史学）

西部忠氏（専修大学・経済学）

司会：

有賀裕二氏（中央大学・経済学）

### 年次大会

「技術・産業の進化と資本主義のゆくえ」

日時：2019年3月16日（土）、17日（日）

会場：名古屋工業大学

※プログラム、報告申し込み等については、大会ホームページ、メーリングリストにてご案内します。

## 会員異動

### 1. 退会者

会員名	フリガナ		所属一機関名	会員種別
林 隆史	Hayashi	Takafumi	会津大学コンピューター理工学部	個人会員
山本 長次	Yamamoto	Choji	佐賀大学	個人会員
朴 英元	Park	Young Won	東京大学ものづくり経営研究センター	個人会員

### 2. 2017 年度末退会者

会員名	フリガナ		所属一機関名	会員種別
Luigi Alberto Di Martino	Di Martino	Luigi Alberto	関西外国語大学外国語学部	個人会員
日向 健	Hinata	Takeshi	山梨学院大学経営情報学部	個人会員
山崎 和郎	Yamasaki	Kazuo	東北学院大学経済学部	個人会員
上浦 基	Kamiura	Moto	東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系	個人会員
石野 洋子	Ishino	Yoko	山口大学大学院技術経営研究科	個人会員

### 3. 前回入会承認者

会員名	フリガナ		所属一機関名	会員種別	推薦会員
長原 徹	Nagahara	Toru	芝浦工業大学工学部	個人会員	浅田 統一郎先生 池田 毅先生
水田 孝信	Mizuta	Takanobu	スパークス・アセット・マネジメント株式会社	個人会員	有賀 裕二先生 瀧澤 弘和先生
細谷 祐二	Hosoya	Yuji	経済産業省	個人会員	塩沢 由典先生 荒川 章義先生

#### 4. 入会希望者

会員名	フリガナ		所属一機関名	会員種別	推薦会員
塩野 剛志	Shiono	Takashi	クレディ・スイス証券株式会社	個人会員	水田 孝信先生 瀧澤 弘和先生
八木 勲	Yagi	Isao	神奈川工科大学 情報学部経営工学科	個人会員	有賀 裕二先生 荒川 章義先生
小野澤 康晴	Onozawa	Yasuharu	(株)農林中金総合研究所	個人会員	中原 隆幸先生 宇仁 宏幸先生
河又 裕士	Kawamata	Yuji	筑波大学 システム情報工学研究科	学生会員	有賀 裕二先生 小川 一仁先生

#### 5. 休会

会員名	フリガナ		所属一機関名	会員種別
後藤 和子	Goto	Kazuko	埼玉大学経済学部	個人会員
川口 正樹 (海外赴任中休会)	Kawaguchi	Masaki	外務省アジア局東南アジア第一課	個人会員
徐 龍燮 (海外在住中休会)	Seo	Yong-Sub	(元) 京都大学大学院経済学研究科	学生会員
橋本 千津子	Hashimoto	Chizuko	北海道大学大学院経済学研究科	学生会員
平野 耕一	Hirano	Koichi	リバプール大学	学生会員
中嶋 眞澄	Nakajima	Masumi	鹿児島国際大学経済学部	個人会員
石田 聡子	Ishida	Satoko	岡山大学大学院社会文化科学研究科	個人会員

#### 6. 宛先不明

会員名	フリガナ		所属一機関名	会員種別
高藪 学	Takayabu	Satoru	東京学芸大学人文社会科学系	個人会員
相田 慎一	Aida	Shinnichi	専修大学 経済学部	個人会員
Alonso Moreno Oscar Miguel	Alonso Moreno	Oscar Miguel	東京工業大学大学院総合理工学研究科	学生会員
大熊 匠美	Ohkuma	Takumi	中央大学大学院経済学研究科	学生会員
佐藤 了	Sato	Ryo	The Node Consulting 株式会社	個人会員
石塚 史樹	Ishizuka	Fumiki	西南学院大学 経済学部 国際経済学科	個人会員
韓 丹	Han	Tan	名古屋大学経済学研究科	学生会員

## 7. 種別変更

会員名	フリガナ		所属機関名	変更内容
岩尾 俊兵	Iwao	Shunpei		個人会員

### 編集後記

吉田昌幸会員のあとを継ぎ、本年度からニュースレターを担当することになった阪南大学の西洋です。就任早々、担当会員の方々には原稿のご用意をお願いいたしましたが、みなさまのご助力により、ここに No. 44 をお届けすることができました。

巻頭の写真は、クロアチアはドゥブロヴニクです。紺碧のアドリア海に赤いルーフが映えるなんとも美しい街でした（ちなみにシーフードのグリルは絶品！）。じつは、わたくし 2017 年度は勤務校からサバティカルをいただき、英国はキングストン大学ロンドンで在外研究を行うことができました。英国滞在中、ヨーロッパのところどころに観光に出かけましたが、写真はその一コマです。

滞在中は英国の研究事情を目の当たりにしましたが、日本と圧倒的に違うのは研究者の研究時間が十分に確保されていることでした。ゆっくり、じっくりと思索にふける。これこそ学問をするうえで重要な条件、環境であり、いまの日本の研究現場、とりわけ大学においてもっとも必要なものではないでしょうか。

はじめてのニュースレター作成であり、前例踏襲的に、ルーティン的に作成をしました。ただレイアウトの段組みは 2 段から 1 段に変更し、1 行をスムーズに読めるようにしてみました。いかがでしょうか。

進化経済学にとってのキーワードはイノベーションだと思います。ニュースレターに作成についても、ルーティンからイノベーションが生み出されるよう、皆様からのご意見をお待ち申し上げます。

ニュースレター編集担当：西洋（阪南大学）